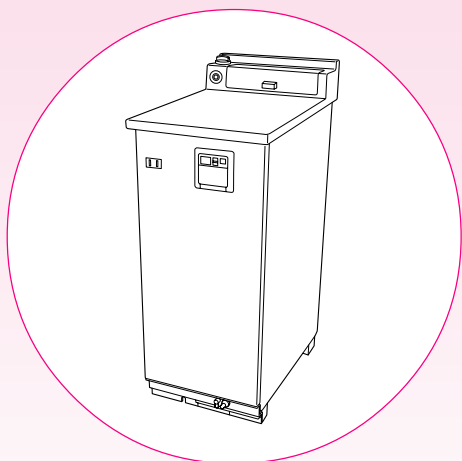
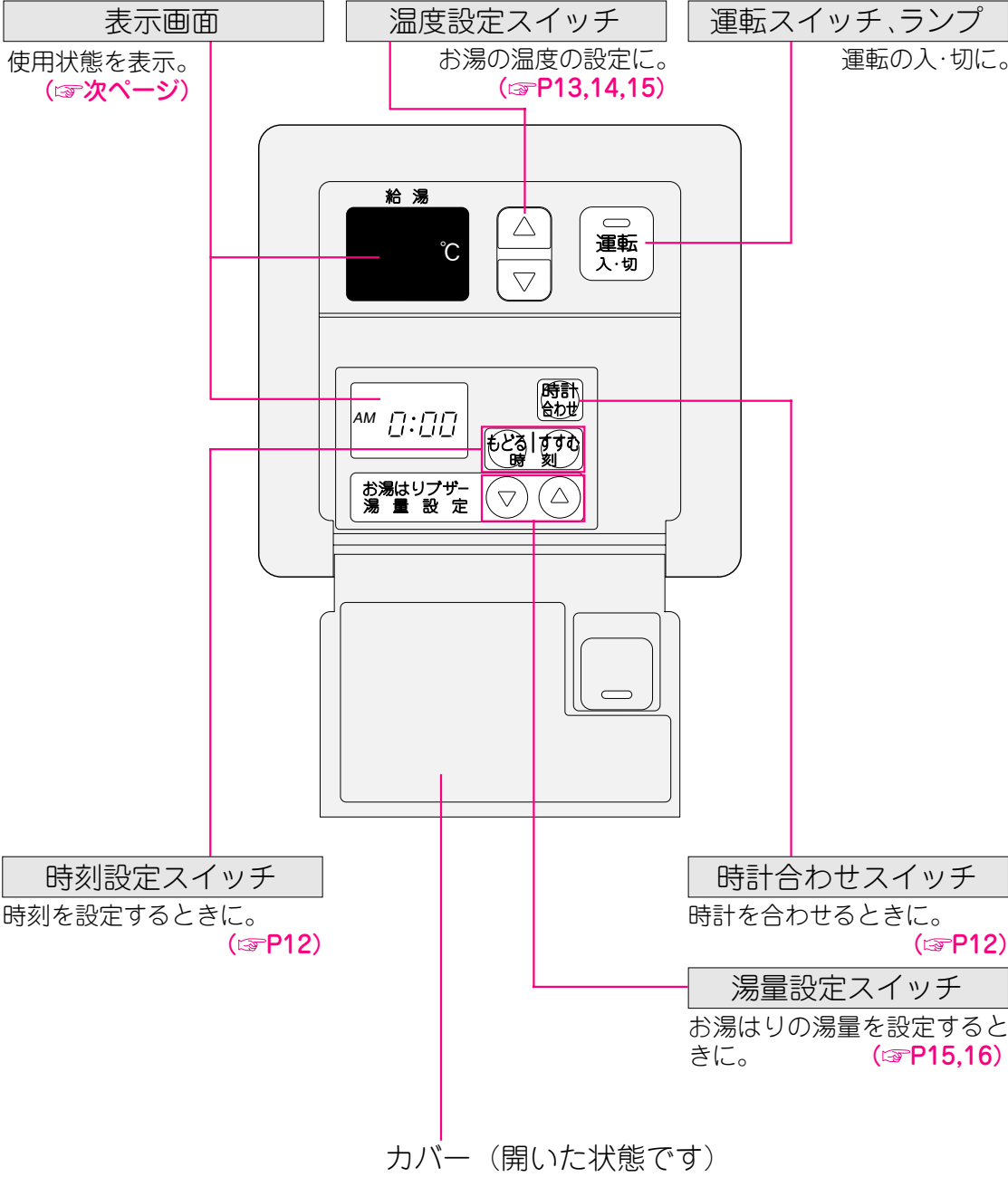
調理台形ガス給湯器
取扱説明書 保証書付

品 名	機器コード
NR-516GFFB-Q-B	11-049-22-09980
NR-516GFFB-Q-L	11-049-22-09981
NR-516GFFB-Q-R	11-049-22-09982

もくじ

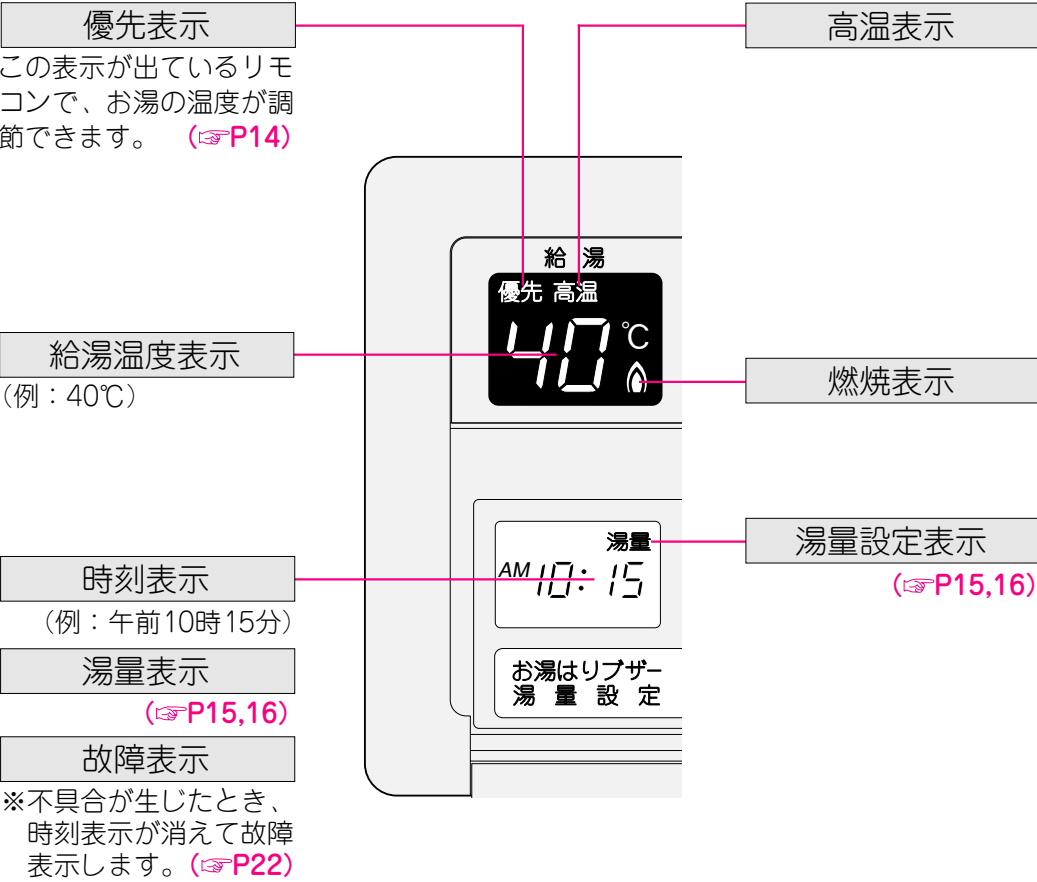
このたびは調理台形ガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
＊保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
＊この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

TOKYO GAS

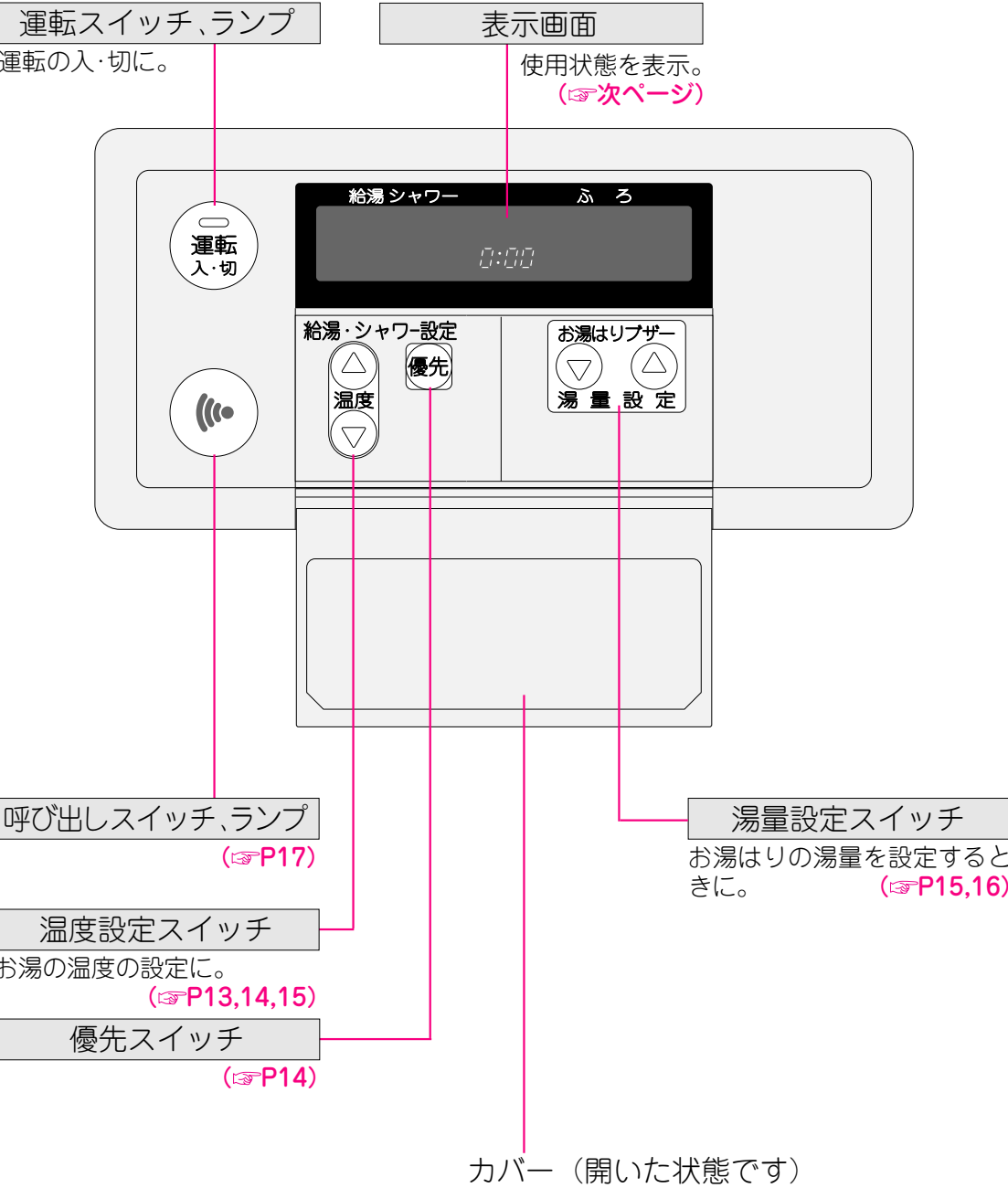
SBA8027

各部のなまえとはたらき -2

操作部

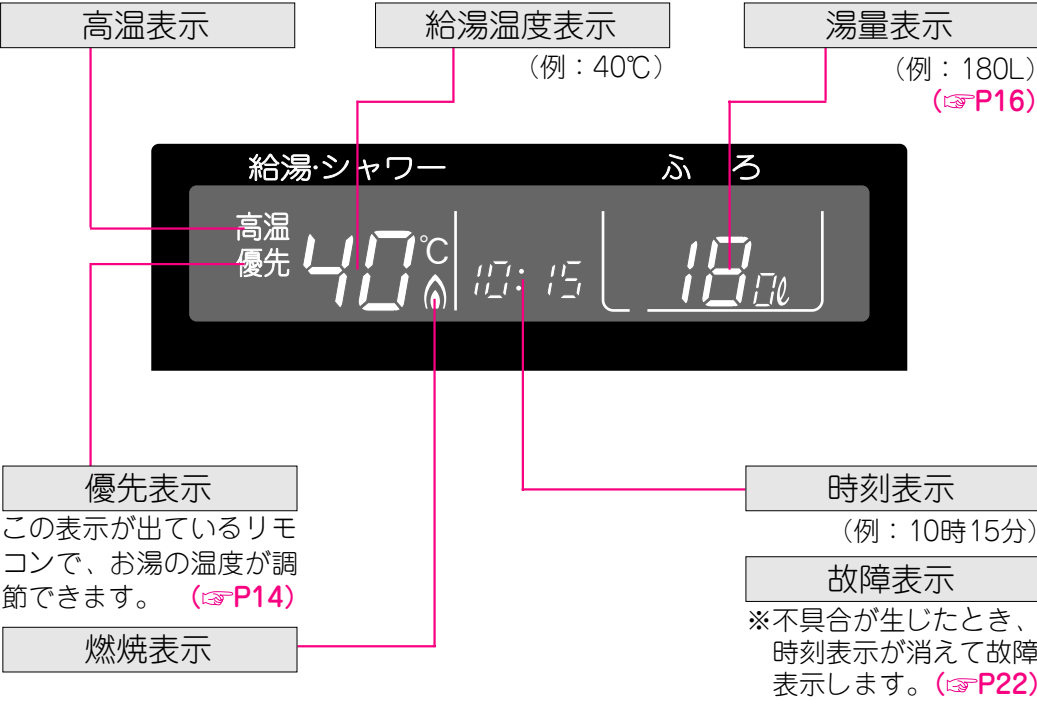
表示画面

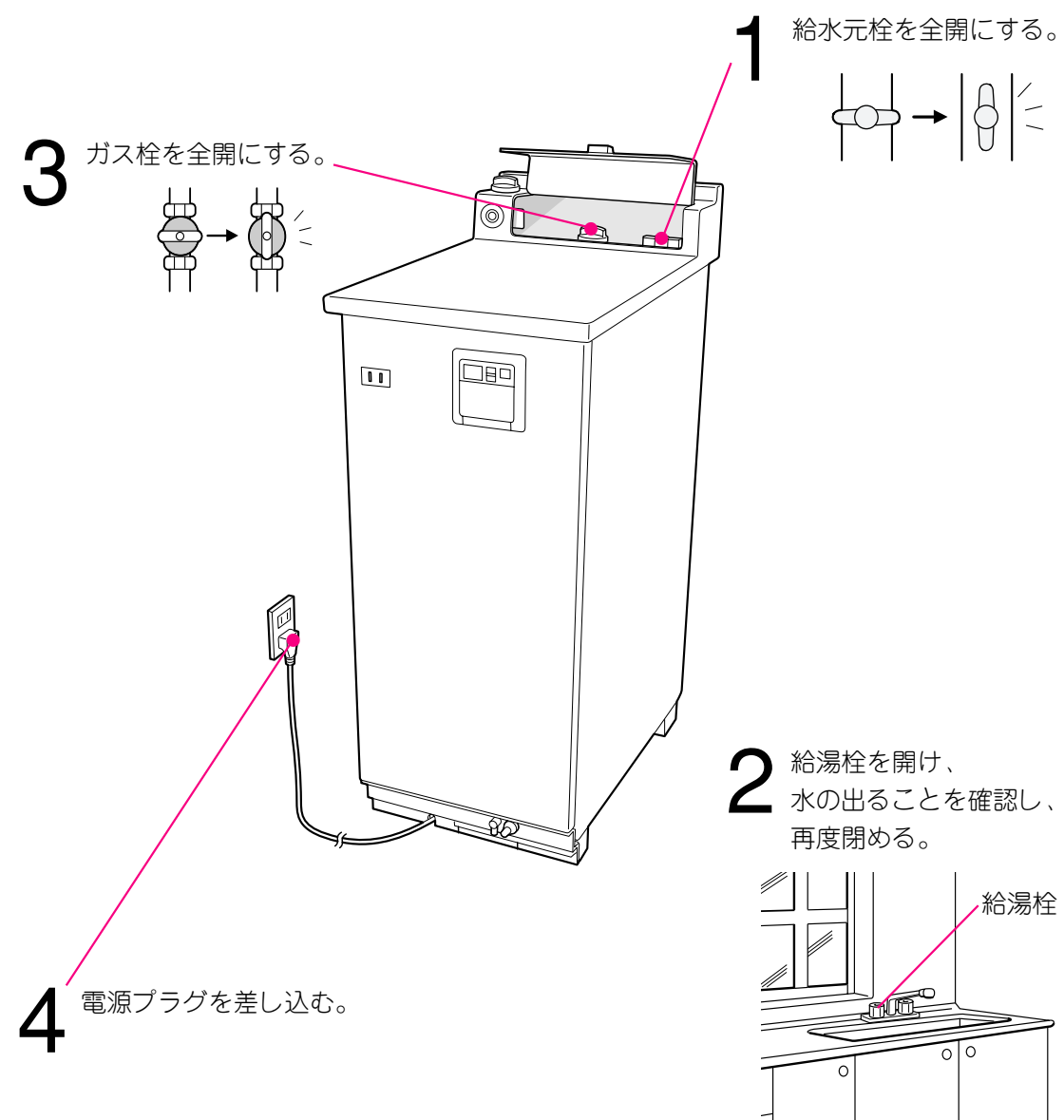
下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

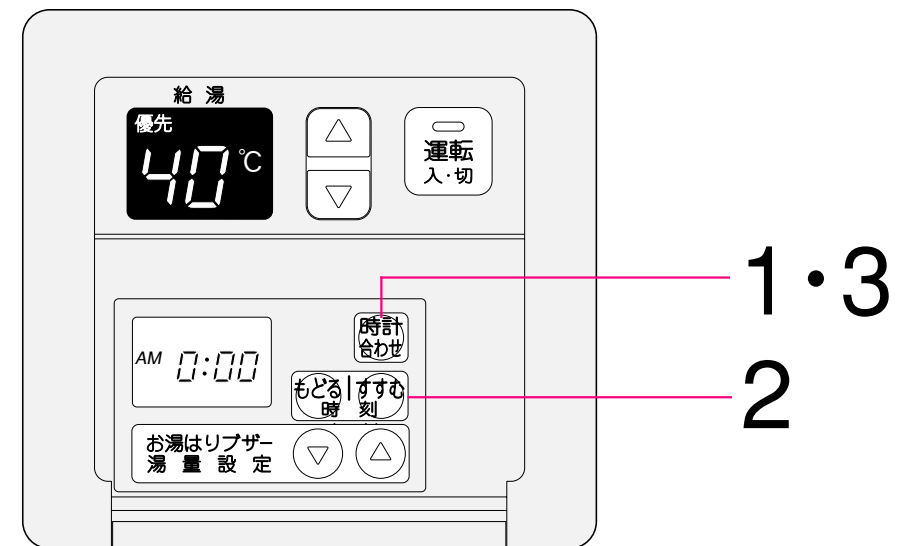
各部のなまえとはたらき -3

浴室リモコン（RC-6006S）<別売品>

※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

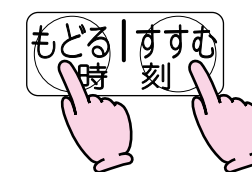
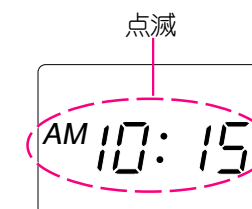
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1〜4 の手順でおこなってください。

現在時刻を合わせる

運転スイッチ「入･切」に関係なく設定できます。
（下の画面表示は運転スイッチ「入」の状態です）

1 時計合わせスイッチ押す

《 AM 0:00 》が点滅します。

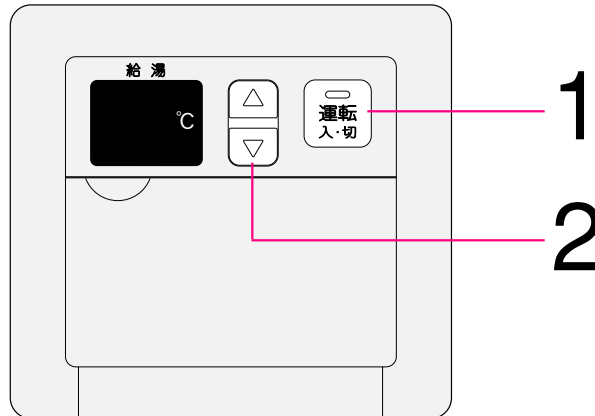
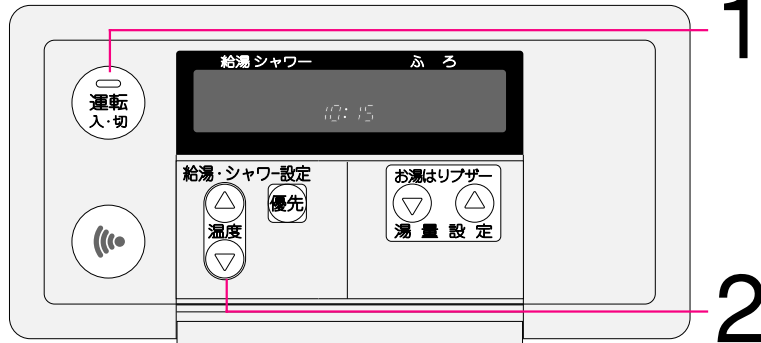
2 時刻を合わせる

一度押す毎に１分ずつ変わります。押し続けると10分ずつ変わります。

例：「午前10時15分」のとき

3 時計合わせスイッチ押す

点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。

使いかた
お湯の出しかた

ここでは操作部でご説明します

（操作部）

（浴室リモコン）

＜運転スイッチ「切」のとき＞

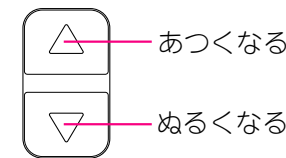
1 運転スイッチ押す

前回に設定した温度
（例：40℃）

＜一度設定すると記憶します＞

2 温度を調節する（変更しないときは温度を確認する）

優先表示確認

優先 41℃

お湯の温度

3 給湯栓を開ける

点灯

4 給湯栓を閉める

消灯

37〜48℃の1℃きざみと60℃，75℃で調節できます。

（目安の温度：℃）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
食器洗いなど		シャワー、給湯など					給湯など					高温	

サーモ付混合水栓の場合は、リモコンのお湯の温度設定をご希望の温度の約10℃アップに設定すると、ちょうどよくなります。

※運転スイッチを「切」にし、再度使用するとき、前回の温度が75℃のときは、安全のため60℃に変わります。

⚠警告 やけど予防のために

高温注意

●シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

●60℃，75℃に設定したときは《高温》の表示が点滅（約10秒）後、点灯してお知らせします。

＜操作部表示画面＞

点滅 → 点灯

●60℃，75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。表示の温度をよく確かめてから使用してください。

●シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。

●シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は《優先》を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。

お湯の温度は、《優先》を表示しているリモコンで調節します

浴室リモコンで調節したいが優先表示がついていない

優先 を押す。

操作部で調節したいが優先表示がついていない

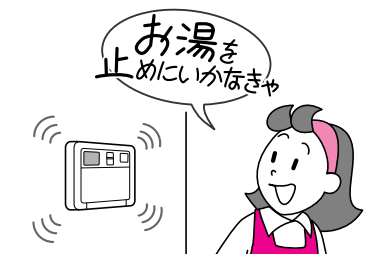
運転 入・切 を一度「切」にし再度「入」にする。

※ふろ運転中にこの操作をするとふろ運転が停止します。

《優先》を表示し、そのリモコンでお湯の温度の調節ができます。

使いかた
お湯はりブザーの鳴らしかた

ここでは操作部でご説明します

浴そうにお湯をはるとき、お湯の量を設定しておくと、その量になったときにリモコンのブザーが約10秒間鳴ってお知らせします。
（お湯は自動的には止まりません）

お湯はりの温度の目安 （℃）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチ押す

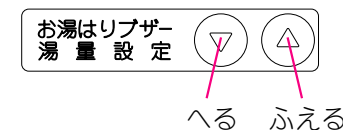
<一度設定すると記憶します>

2 温度を調節する （変更しないときは温度を確認する）

優先表示確認

お湯はりの温度
（例：42℃）

<一度設定すると記憶します>

3 湯量を調節する （変更しないときは湯量を確認する）

40～260（20Lきざみ）・300・350・400・990Lの値で調節できます。（目安の量）

注 990Lの場合、ブザーは鳴りません。

点灯

お湯はりの湯量（例：180L）
※3秒後時計表示に変わります。

<浴室リモコンの場合>

お湯はりの湯量（例：180L）

4 浴そうの給湯栓を開ける

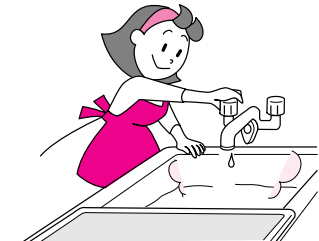
点灯

5 ブザーが鳴ったら給湯栓を閉める

ブザー（ピッピッ音）が鳴ったら設定量お湯はりしました。
お湯を止めてください。

消灯

注 990Lの場合、ブザーは鳴りません。

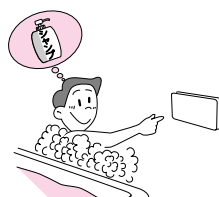
●お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの湯量が少なくなります。
●残り湯（水）がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴そうに残っている湯（水）の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。
●前日などの残り湯（水）があるときは、設定した温度にはなりません。

使いかた

浴室からの呼び出しかた

（浴室リモコンがある場合）

（浴室リモコン）

台所側（操作部）を呼び出すことができます。

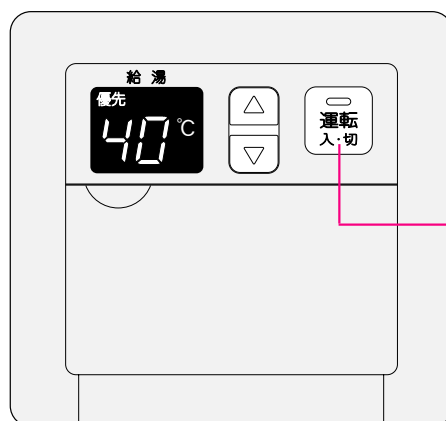
呼び出しスイッチ　押す

操作部でブザーが約３秒間鳴ります。
この間ランプが点灯します。

呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた

操作確認音の消しかた、鳴らしかた

操作部、浴室リモコンそれぞれで設定できますがここでは操作部でご説明します

（操作部）

操作部・浴室リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という音がします。お好みによりこの音を鳴らないようにしたり鳴るようにしたりできます。
（お買い上げ時は鳴るように設定しています）

運転スイッチ
５秒以上 押し続ける

呼び出しブザーおよびお湯はりブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

冬期の凍結による破損予防 -1

冬期には本体や配管内の水が凍結し、破損することがありますので、以下の方法で凍結を予防する必要があります。

通常の寒さのとき

気温が下がってくると、**凍結予防ヒーター**が自動的に作動して本体内を保温し、凍結を予防します。

※電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

※リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

凍結予防ヒーターでは、給水・給湯配管や、給水元栓及びふろ配管などの凍結は予防できません。
必ず保温材または、電気ヒーターを巻くなどの処置をしてください。
（わからないときは、販売店に確認してください）

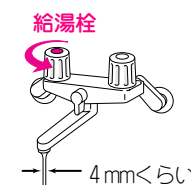
低温注意報が発令されたときや冷え込みが厳しいとき

以下の要領で、通水による凍結予防をしてください。

※電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

1．運転スイッチを「切」にする。
2．ガス栓を閉める。
3．お風呂の給湯栓を開いて、少量の水（１分間に約400cc･･･太さ約４mm）を流したままにしておく。
　※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4．流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。

給湯栓
4mmくらい

※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが、凍結予防の処置の場合は問題ありません。

●この方法は、本体だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
●サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
●この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

1．ガス栓・給水元栓を閉める。
2．運転スイッチを切り、給湯栓を開ける。
3．ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4．水が出るようになっても、本体や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。

●凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。本体の故障の原因となります。
●凍結により本体が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

冬期の凍結による破損予防 -2

長期間使用しないとき

以下の要領で、水抜きによる凍結予防をしてください。

⚠注意

お湯の使用後は、本体内のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
　やけど予防のため。

1 操作部または浴室リモコンの運転スイッチの「入」・「切」をゆっくり2～3回くりかえし、最後に「切」にする。

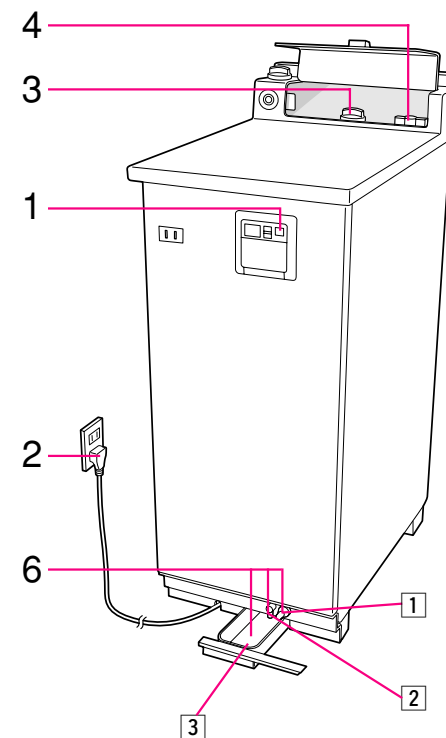
2 電源プラグを電源コンセントから抜く。
ぬれた手でさわらないで

3 ガス栓を閉める。

4 給水元栓を閉める。

5 すべての給湯栓を全開にする。

6 水抜き栓つまみ1を左にまわし、排水口2から出る水を排水受け皿3で受ける。
※排水受け皿3の半分ほどの深さまで水がたまったらそのつど水を捨て、排水受け皿3から水があふれないよう注意してください。

7 排水口2から完全に排水したことを確認し、水抜き栓つまみ1を右にまわして閉め、次に使用するまでそのままにしておく。

●この方法では、給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。
必ず保温材または、電気ヒーターを巻くなどの処置をしてください。
（わからないときは、販売店に確認してください）

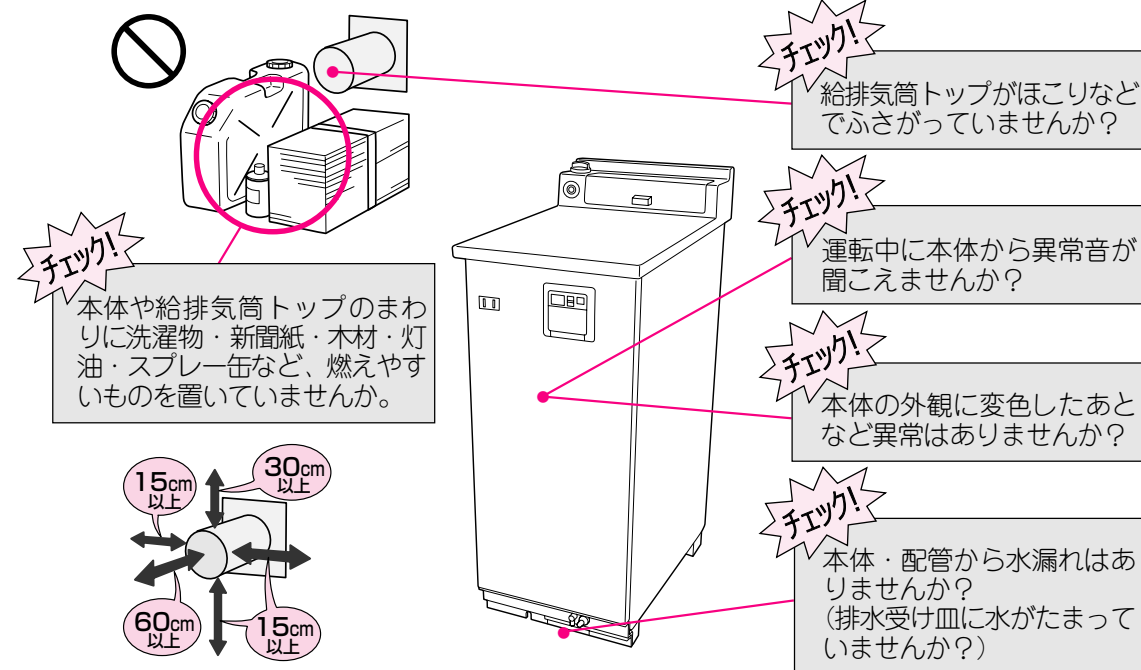
再使用のとき

1．水抜き栓つまみ1が閉まっていることを確認する。
2．すべての給湯栓を閉める。
3．11ページの「初めてお使いになるときは」の手順1～4にしたがってください。

日常の点検・手入れのしかた

点　検（定期的に）

⚠注意

お湯の使用後は、本体内のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
　やけど予防のため。

お手入れ（定期的に）

本　　体

本体の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気をふき取ってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤をお使いください。

●トップカバーフタに故意に水をかけないでください。
　内部に水が入り、故障の原因になります。

排水受け皿

月に1回程度排水受け皿を点検し、たまった水を捨ててください。

リモコン・操作部

操作部・浴室リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

●操作部・浴室リモコンの掃除には塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使わないでください。
　変形する場合があります。
●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
（操作部は防水タイプではありません）

＜定期点検のすすめ（有料）＞

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

次のことをお調べください

症状	確認事項
運転ランプが点灯しない	●停電していませんか？ ●電源プラグが差し込まれていますか？
給湯栓を開いても お湯が出ない 使用中に消火した ※リモコンに故障表示が出ている場合は24ページを参照してください	●ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ●断水していませんか？ ●給湯栓は充分開いていますか？ ●凍結していませんか？（☞P18） ●ガスメーター（マイコンメーター）がガスをしゃ断していませんか？
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	●ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ●操作部・浴室リモコンの給湯温度設定は適切ですか？（☞P13,14）

次のような場合は故障ではありません

症状	説明
給湯栓を絞りすぎて 水になった	給湯栓から流れるお湯の量が１分間に約3.5L以下になったとき消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯栓を開いても すぐお湯が出てこない	本体から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
寒い日に給排気筒トップから白い煙が出る	冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。

（つづく）

（つづき）

症状	説明
運転を停止しても しばらくの間ファンの 回転音（ブ～ン）がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。
低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、その原因を故障表示（点滅）してお知らせします。
（操作部は運転ランプも点滅します）
下表に応じた処置をしてください。
例：《 11 》を表示したとき、下図のような点滅をくりかえします。

＜操作部＞　＜浴室リモコン＞

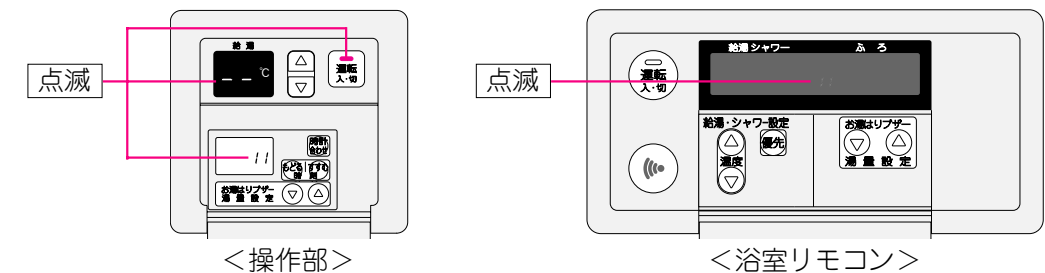



表　示	原　因	処　置
01	給湯を連続60分以上運転したため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。
11	点火エラーが生じました	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。
99	本体の燃焼に異常が生じています	販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

以下の場合は、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください
・上記以外の表示（例：61など）が出るとき
・上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
・その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

21～22ページの「故障かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品名 ･･･････････（機器正面に貼り付けてある銘板または保証書をご覧ください）
お買い上げ日 ･･･（保証書をご覧ください）
異常の状況 ･････（故障表示など、できるだけくわしく）
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。（工事店にご相談ください）

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで本体を移設されるときは、本体（銘板）に表示してあるガスの種類・電源（電圧）が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業所・販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、本体の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。
※ガスの種類によっては改造・調整ができない場合があります。

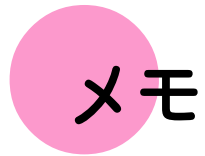
主な仕様

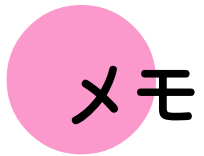
仕　様　表　／　能　力　表

項目		仕様
品名		NR-516GFFB-Q-B，NR-516GFFB-Q-L，NR-516GFFB-Q-R
型式名		GBF-1611D-E
種類	設置方式	屋内設置形
	給湯方式	先止め式
点火方式		放電点火式
水圧	使用水圧	0.1～1.0MPa（1.0～10.0kgf/cm²）<推奨水圧 約0.15～0.5MPa（約1.5～5.0kgf/cm²）>
	作動水圧	10kPa（0.1kgf/cm²）
最低作動流量		3.5L/分
外形寸法		高さ800mm×幅350mm×奥行550mm
質量（本体）		35kg
接続口径	給湯	R3/4
	給水	R3/4
	ガス	R3/4
電気関係	電源	AC100V（50/60Hz）
	消費電力（50/60Hz）	58W/58W 凍結予防ヒーター141W
	待機時消費電力	7.0W
温度制御方式		電子式ガス比例制御方式
安全装置		立消え安全装置、空だき防止装置、過圧防止安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、漏電安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置

使用ガス		1時間当たりのガス消費量（最大消費量）	出湯能力（最大時）（L/分）	
			水温＋25℃上昇	水温＋40℃上昇
都市ガス用	13A	34.9kW	16	10
	12A	32.6kW	15	9.5

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・出湯能力は湯水混合の計算値です。
　但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

メモ

メモ欄として活用してください。

メモ

メモ欄として活用してください。

保 証 書

品　名	調理台形ガス給湯器 NR-516GFFB-Q-B，NR-516GFFB-Q-L，NR-516GFFB-Q-R

型式名	GBF-1611D-E

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、本体（リモコン含む）を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
   電装基板・リモコン（電装基板に起因する故障のみ）························ 3年
2. 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3. サービス員がお伺いした時に、本証書をご提示下さい。
4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
   （1）住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
   （2）取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
   （3）器具を調整、改造された場合の不具合（但し、当社都合の場合はのぞきます）
   （4）お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
   （5）建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
   （6）強い腐食性の空気環境に起因する不具合
   （7）犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
   （8）火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
   （9）電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
   （10）指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
   （11）給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
   （12）温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
   （13）本保証書を紛失された場合
5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　**東京ガス株式会社**　〒105−8527　東京都港区海岸1丁目5番20号

保証責任者　**株式会社ノーリツ**　〒650−0033　神戸市中央区江戸町93番地

■お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　　年　　　月　　　日

販　売　店		扱 者 印	
住　　所			
電 話 番 号			

■修理記録

この本体の修理記録用紙は、本体の内側にあります。

■お客さまへ

1. この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者（保証履行者・保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。